

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

| 評価 担当者 | 課名 | 氏名 | 内線 |
|-----------|---------|------|------|
| | 子ども子育て課 | 尾本 浩 | 2500 |

| コード | I-2-3 | 施策名 | 安心して産み育てるための支援 |
|--------------|---|-----|----------------|
| 施策の 方針 | 子育てしやすい環境を整える | | |
| まちづくり の方針 | 生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉) | | |
| 5年後の めざす姿 | 妊娠から出産、子育てまで、その時々に必要な支援を受け、健康で安心して過ごせるような支援体制を整えます。また、子育てを地域全体で支え合う仕組みづくりをめざします。 | | |
| 施策の 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 第2期白杵市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援施策・事業等を推進します。 ちあぼーとを中心に関係機関との連携を強化し、対応する職員のスキルアップを図ります。 子どもの健やかな成長・発達を支援するとともに、子育て世代の経済的負担軽減に取り組むなど、更なる子育て支援を充実させます。 | | |

<指標>

| 新規 指標 | 指標名 | 説明・算式・引用 | 実績の推移 | | | | | | |
|---------------------|---|---|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | | 単位 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| この地域で子育てをしたいと思う親の割合 | 目標 | 乳幼児健診時の「健やか親子21アンケート」において、この地域で子育てをしたいと思う親の人数÷健診受診者(親)数 | 割合 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 |
| | 実績 | | 96.7 | 97.3 | | | | | |
| | 達成率 | | | 100.3% | | | | | |
| 母子手帳交付時の保健指導率 | 目標 | 保健指導実施者数/母子手帳交付者数 | 割合 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | 実績 | | 100.0 | 100.0 | | | | | |
| | 達成率 | | | 100.0% | | | | | |
| 3歳6か月児健診受診率 | 目標 | 3歳6か月児健診の受診者(児)数÷対象者数 | 割合 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 | 97.0 |
| | 実績 | | 96.3 | 98.4 | | | | | |
| | 達成率 | | | 101.4% | | | | | |
| 0～5歳児の数 | 目標 | 住民基本台帳による各年の4月1日現在の0～5歳児の数 対前年10人増を指標とする | 人 | 1,266 | 1,276 | 1,286 | 1,296 | 1,306 | |
| | 実績 | | 1,256 | 1,165 | | | | | |
| | 達成率 | | | 92.0% | | | | | |
| 児童の朝食欠食率 | 目標 | 全国学力・学習状況調査 | 割合 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 |
| | 実績 | | 4.1 | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | | |
| 指標の分析 | ちあぼーとを中心として、妊娠前から切れ目のない子育て支援が充実し、相談支援体制整備にも努めており、気軽に悩みや不安などの相談ができるようになり、本市で子育てをしたいと思う親の割合が引き続き高くなっています。また母子手帳交付時の保健指導は安心安全な出産に向けて必ず保健指導しています。乳幼児の集団健診率は、90%以上がちあぼーとでの集団健診を受診し、残りの数%の方は小児科での乳児健診となっており、未受診者はほとんどいません。また、乳幼児の人数は子育て世帯の移住定住等による増加を期待したが、コロナ禍の影響と少子化による出生数の減少が大きく影響しているものと考えます。 | | | | | | | | |

<市民意識調査結果>

| | 領域名 | 必要度 | 満足度 |
|------------------------|---|------|------|
| 市民意識調査 結果 (R2調査) | 向上領域 | 2.69 | 2.12 |
| | 令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「向上領域」に位置しており、取り組みの向上や維持が望まれています。 | | |
| 市民意識調査 結果分析 | 「必要度」「満足度」ともに前年度より高くなっています。妊娠からの切れ目のない子育て支援の充実に着実に取り組む中で、事業の拡充に加え、コロナ禍においても子育て世帯への寄り添い支援や給付を行ったことなどが考えられます。ただし、今後も継続的で、連続性のある安心して生み育てることができる支援や市民ニーズに対応した総合的な取り組みが必要であると考えます。 | | |

<次年度以降の課題>

| 令和3年度以降 の課題 | 若い女性の市外転出や晩婚化、子育てに係る経済的負担が課題で、出生数減少に歯止めがかからない状況ですが、安心して出産を迎え、子どもの健やかな成長を願い、様々な支援体制を整えていきます。こうした中、令和3年度からは妊産婦医療費助成の継続に加え、出生祝品を1人1万円から2万円に増額し、更に病児保育の充実や「子育てほっとクーポン」にオムツ・ミルクの購入に使用できるようにします。また、産後の支援の充実のために産婦健診事業を採り入れ、必要に応じて産後ケア事業につなぐなど、コロナ禍においても、妊娠からの切れ目のない支援を充実していきます。 |
|----------------|---|
|----------------|---|

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

| 事務事業名 | 事業内容 | 担当課 ※実施した課を記入 | 課の 重点 ※運営計画記載 | 事業費(単位:千円) | | | 課長 評価 | 公共 5 カ 年 | 他の 関連施策 コード |
|--------------|---|------------------|---------------------|------------|------------|-------------|----------|-------------------|-------------------|
| | | | | R1年度 実績 | R2年度 実績 | R3年度 見込み | | | |
| 1 利用者支援事業 | 子育て支援コーディネーターを配置し、妊娠期からの切れ目のない支援をコーディネートします。 | 子ども子育て課 | | 6,038 | 8,288 | 9,714 | 重点継続 | | I-2-4 |
| 2 子ども医療費助成事業 | 子どもの医療費を助成することにより、疾病の早期発見と治療を促進することを目的としています。 | 子ども子育て課 | ○ | 107,277 | 83,323 | 106,600 | 重点継続 | ○ | I-2-4 |
| 3 乳幼児等健康診査 | 4か月・10か月・1歳6か月・3歳6か月健診等乳幼児の健診実施や、妊産婦健診の費用助成 | 子ども子育て課 | | 22,963 | 20,000 | 23,990 | 継続 | | I-2-4 |
| 4 乳幼児等訪問事業 | 生後4ヶ月を迎えるまでの児の保健師・看護師・栄養士等の全戸家庭訪問を実施 | 子ども子育て課 | | 889 | 1,209 | 1,482 | 継続 | | I-2-4 |
| 5 予防接種事業 | 予防接種法による定期予防接種及び任意予防接種の費用助成を行っています。 | 子ども子育て課 | | 83,111 | 85,426 | 96,205 | 継続 | ○ | I-1-2 |
| 6 妊産婦医療費助成事業 | 妊産婦の保険適用による医療費の自己負担額を助成しています。 | 子ども子育て課 | ○ | 2,818 | 5,027 | 5,000 | 継続 | ○ | I-2-4 |
| 7 | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 223,096 | 203,273 | 242,991 | | | |

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

| 進捗状況 | 安心して産み育てられる支援について、様々な市民のニーズに対応するため、子育て支援だけでなく、関係部署と連携し、住宅・雇用・結婚・出産支援など総合的・横断的な取り組みが必要であるので、限られた財源の中で、効果的な施策の展開を図るとともに、施策の周知など積極的な情報発信に取り組む必要があります。また、単年度で終わることのないような、継続的で連続性のある支援を実施していく必要もあります。 | 課長評価 | 重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する |
|------|--|------|----------------------------|
|------|--|------|----------------------------|

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

| 内部評価 | 重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する | 令和2年度においても、取り組みを強化して実施しているが、継続した内容が主であったため、重点施策として実施しているものと評価。 |
|------|----------------------------|--|
|------|----------------------------|--|

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

| 評価のコメント | 外部評価 |
|--|------|
| ちあぼーとの一つの窓口で全て完結など、白杵市が本当に子育てしやすい環境にあると感じている。就学前の健診についても、こども園と連携し、健診受診の働きかけを行うなど、関係機関と連携した取り組みができていて実感している。子ども数が減少していること以外は、白杵市の子育て施策は順調だと感じている。この施策を拡充し、市内への移住・定住に結び付けてほしい。 | 強化 |

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

| |
|---|
| 出生数はコロナ禍の影響は図れないが、減少傾向にある。施策の評価指標の推移も順調となっているため、支援が継続的で連続性のあるものとなるために、関係機関等と連携し取り組んでいきたい。 |
|---|